

滯歐中祖國の思想界を回顧して

堀 田 正 恒

唯今此席で私か御話を申しますることは私としては實は苦痛に存する次第でございます。唯今私が喜んで受けて呉れたといふ御話でございましたが、實は私にとりまして苦痛でございます。加之斯ういふ席では實は私は一層に苦痛に思ひますのは、此學校に私が通つて居りました時は私は此建物は恐ろしい建物のやうに感じて居りました。此恐ろしき建物の中で、御話し申しますは一層私には苦痛に存せられる次第でございます。併し出立前から加藤博士は是非やつて呉れといふ話でございましたし、其後又歸朝致しましてから度々御依頼でございましたものですから大いに勇氣を振り起しまして皆様方へ御話申さうと存じます。

私は一昨年春此方を立ちまして六月中旬に倫敦に着きまして、先月十六日歸朝致しました者でございます。其間約二年でございます。主として佛蘭西の方に滞在致して居りました。一昨年は御承知の如く休戦後でありまして私が着きましたのは丁度休戦後約半年経つた後でございましたからして戦争の氣分が尙は残つて居りました。戦争の色々の問題に付いて、例へば戦後の政治状態、戦後の經濟状態、戦後

の財政状態、戦後の社会状態、及び戦後の思想界に付きまして常に面白いことを聞き、面白いことを見たのでございます。それ故私は主として私の専門でございませう農政に付きまして調べに参つたのでございますが、好機逸すべからずと致しましてそれ等の方面に付いても多少調べた積りでございます。それ等の点に付いて色々御話も申して見たいと存じますけれども、諸君に於かせられてもそれ等の点に付きましては先輩に依つて既に御聞きになつたこともありませう又既に御注意になつて御存じの点も多いと思ひますから、それ等の点を一々申しますると大變時間を要しますから唯今はそれ等の点を省きまして、今日は唯彼地で私が感じましたこと丈を申したいと思ひます。即ち理屈を抜きました御話でありまして偉い事を皆様方の前で御話するのは私としては恐懼に堪へないのであります。それ故私が深く感じた理屈抜きの御話を此所で申し上げて置きたいと存じます。

私が佛蘭西に着きましたのは一昨年七月十三日でございます。着きましたから間もなく巴里に於きまして御承知の通り戦勝祝賀の行列がございました。聞きます所では日本に於てもあつたやうに存じます。私は幸にして其祝賀の行列の切符を得まして、外交官席に列席致して其行列を見物致しました。其見物の模様は當時御承知の通り實に盛なるもので、戦勝國たる佛蘭西を筆頭と致しまして盛なる行列がございました。尙ほ當時の佛國民の喜びの状態は御承知の通り實に見ても嬉しいやうなる状態でございます。其行列の際に私の友人と御話合を致しましたが、見物致して居りますと日本の陸軍の將校十名

ばかり馬に乗つかりまして其行列に参加致しました。其行列を見ました時に外の國では國旗を立て、行くのに日本の代表者だけがどうも日章旗を掲げて居らない、それ故に少しく貧弱に感ずるが遺憾のことだ、斯ういふ際に假令日本の聯隊なんが行つて居りませぬから聯隊旗は掲げることは出来ませぬが、之に代るやうなる何か日本を現すやうなる日章旗を掲げて行つて居つたならば日本のプロバカンダが出来やしないかと私等は語り合いました。其プロバカンダに付いて其後私は屢々感じたことでございしますが、一体日本人はどうもプロバカンダといふことが下手な國民であるやうに彼地に居りますと感ずるのであります。例へば其時の話に、日本の赤十字の救護班が巴里に戦時中参つた時などは非常に期日を短くして急いで歸つた、私は赤十字社の經費の問題で已を得ないがも知りませぬけれども、どうも佛蘭西の兵隊或は英吉利其の他の兵隊が救護班の手に依つて全快した者が非常に多く、又始めて佛蘭西の方及び各國の方で日本の醫術といふものはどうであらうかと始めは非常に怪しみて其救護班の手に掛らうとしなかつたのでありますが、始めて掛つて見ると大變日本の醫術は有効である、経過が非常に宜しい、そして這入るやうになつた。さういふ風な状態であつたからもうちつと長くあれを置いて呉れたなら日本の醫術を紹介するに大變よかつたといふ、斯ういふことを申しまする人が多いいいふことを私に話して呉れたのであります。成る程さうであらうと思ひます。假令經費が多少かかつてももうちつとさういふことに付きまして考へて置いたら日本の醫術を紹介されて行くことも少くないと私は思ひました。

現にある巴里の髮床屋に参りました時に、髮床屋のお爺さんが、非常に親切にして呉れましたので私は愉快に感じましたので御座います。で、何故そう親切にして呉れましたかと申しますといふと、其髮床屋のお爺さんのいふには、私は日本の救護班の救護を受けて、元は跛を引いて居つたのが今は此通りよくなつて居ります。それで日本の醫術が非常に進歩して居るといふことをいつて居りましたが現に今も左様申して居るので御座ひます。尙ほ私は昨年がら一昨年に掛けまして度々萬國の會議に出席致しましたが、殊に私の感じましたのは昨年十月伊太利のミランで萬國國際聯盟協會の會議のありました其時に山東問題が矢張り問題となつたのであります。其會議に於きまして前から山東問題は成るべく問題にならないやうに日本の代表者及大使館の方で色々努めたのであります。併し支那の方と致しましては國際聯盟及國際聯盟協會の方で山東問題を決して貰はなければ他で決して貰ふ所がないものでありますから、是は講和會議に支那が調印をして居りませぬから、それ故に國際聯盟協會の方でやつて、山東を早く還附して貰ひたいといふのであります。そういふ目論見の爲に支那は佛蘭西に於て非常にプロバカンダをやつて居るのであります。理屈からいつても又當時日本に對しまして左程各國か惡感を有つて居りませぬし或は寧ろ同情を寄せて居つたのであります其會議の中で又其前から支那は佛蘭西で非常にプロバカンダをやつて居りました爲めに其會議に於きまして支那の代表者の演説の後で佛蘭西の代表者が支那の意見に對して賛成演説をやつたやうな始末になつたのであります、是は當時の支那が一体佛蘭西語が日本人

より非常に上手で其演説が上手であつたことは事實でございますけれども、平素及び其會議の前に於て支那が努めた所のプロバカンダは實に盛なものであつたやうに私共は感じましたが、無論日本もプロバカンダを彼地で努めてやつては居りますけれども日本人は割合いに下手のやうに我々は感ぜられるのであります。日本人と致しまして古來武士道と申しますか或は我々に於て道德觀念の方から八方美人とか或は自家廣告といふことはどうも餘り面白くないやうに考へて居ります。或る場合殊に外交上に於きましては或程度のプロバカンダは必要じゃないかと思ふのであります。此度外務省の方で情報局といふものを置きましたのはプロバカンダを是から先き一層努めてやるといふ其意味が含まれて居るやうに聞き及んで居ります。是は大變日本の外交上喜ぶべきことだと私は思つて居ります。

私は其戰勝祝賀會が終りましたして三週間ばかり経ましてから私は巴里の街の中の佛蘭西人の家庭に這入りました。這入りましてから主として先づ語學の方を勉強致した。語學が出来ませぬと何事を致すにも自分の調査に取掛りまして何と言つてるかサツパリ分りませぬし又聞いて多少分つたやうに思つても間違つて聞いて來る場合があるものでありますから、主として二、三ヶ月は語學をやつて居りました。それから追々私の専門の農政の方を調べて來たのであります。其間にも色々感じたこともございますけれども一つ二つを申し上げるといふと、當時の佛蘭西に於ては無論のこと總ての物價に對しまして税が掛つて居ります。日用品又は必要品に於きましても必ず一割の税が掛つて居ります。此税はかなり佛蘭西國

民にとりましては重税と思ひます。然るに佛蘭西の國民は一言半句の不平もなくして當然のものと思つて支拂つて居るのであります。其後英吉利に參りましても、英吉利も同じやうに矢張り税を納め又色々の制限に對しましても何等不平を唱へずして其制限を遵奉して居るのであります。之を見之を知りました時に私は佛蘭西、及び英吉利又伊太利、白耳義も同じことでありますが、彼等の遵奉心の強いことに驚き且つ是に照らしまして日本がどうであるかといふことを考へたこととございます。無論其當時佛蘭西國民とか又英吉利國民、白耳義國民が平たくして其當時の法律に従ひ、其規則を守つて居るのは、あゝいふ國家が危くなつた位の大戦に際會しました爲めに無論日本の立場とは異つて居りますからして日本も或はさういふ機會がありますれば無論さういふ遵奉心は起り彼等に負けないと存じます。併し聞く所に依れば又英吉利なんかでは殊に遵奉心が強くて或は日本人よりも強くはないかといふことを聞くのであります。先般米價調節といふ場合に於ても成るべく米を喰はないで其代用品を齎したいといふ聲が起つて進んで是に従つて行つたならば米價騰貴も米價調節も好成績に終りはしなかつたかと私共も思ふのであります。聞く所では勞働者の中には寧ろ米を喰ふ者が殖えたといふことは私は無論先程申し上げた通り佛蘭西、英吉利と日本とは戦争には參加致しましても其氣分が違ひます爲にさういふ場合の物價調節と日本の米價調節とは一緒には出來ませぬけれども、もう少し遵奉心があつたならば宜しくはないかと我々は考へますので、又希望致した次第でございます。

八時間労働問題に付きましては彼地でも常に論せられた所でありまして、農業家に八時間労働が適用出来るや否やといふ問題まで論せられた次第でございます。日本も其國際労働會議に於きまして、特殊國と致して參加致しました。兎に角八時間労働主義を認めた次第でございますが、其可否は別問題と致しまして八時間労働を認むるならば八時間労働を認めた結果はどうがといふことは考へねばならぬのであります。果して八時間労働を認めまして其前と同じく又其前に優る労働能力、生産能力といふものがあるかといふことを考へなければならぬと思ふ。併し是は行つて直ぐ効果が擧がるのではございませぬからして何とも申上げ兼ねますけれども、併し彼地でもつて見たことを一つ申し上げますと、私は色々工場に行つて見ました。一つの工場に参りまして其専務なんかと會つて聞きましたと、八時間労働を實際やつて居るが、先般八時間労働よりもより以上九時間、十時間の労働にあたらふと思ふ者は希望に依つて之を許すと、斯ういふことをいつたのであるが、喜んで多數のものが九時間労働、十時間労働に従つたさうであります。併しながら二、三週間経ちますと段々又減つて行つた、是は怪かしいといふ譯けで聞きました所が、自分達は無論八時間労働よりも九時間労働、或は十時間労働を希望して居る。是は賃金が割増しになるのでありますから……併しながらあそこにはサンジカリズムといふ組合があつて其組合が若しも八時間労働、九時間労働、十時間労働に従ひますれば組合から除名せられ、組合からはやきもきいつて來ますから止めたさうであります。又工場の附近の、丁度工場が引けた後の時間に

私は酒屋に這入つて見ました所が、我々はまあ酒屋の中に參つてビールでも一杯飲みます。労働者の人々は初めは矢張り我々と同じくビールを飲んで居るのでありますが、段々喋つて居る中に遂にやれ葡萄酒やブランドーといふやうになるのであります。まあ無論労働者の中のはんの一部分であらうと思ひましたが、さういふのも私は見受けたのであります。八時間労働の趣旨は御承知の通り色々ありますけれども労働を行つて八時間に制限をして而して國民の体育を能くして又労働能力を増すといふことであります。さういふ状態を見たならば八時間労働の制度を執るのに付いては色々注意をしなければならぬといふことを我々は考へねばならぬと思ふのでございます。

八時間労働に付いて尙ほ体育關係上日本と彼地と違ふことも無論參酌しなければならぬと思ひます。先程も一寸申して置きましたが一体日本人と彼地の人々とは非常に体育が違ひまして、どうも私の躰のやうに長く大きな脊の者も向ふの中位の人の骨格と同じ位ひで決して誇るだけの私の體格ではないのであります。私の手なんか先程御覧し致しました通りに女の手と同じ位の大きさでございますから、私の躰なんか長くはございますけれども決して向ふの人の體と匹敵する位の私の體ではとてもないのであります。概して日本人は向ふの人から、ずつと体育に於ては劣つて居るやうであります。私は色々原因もございませうけれども殊に運動の足りないやうに私などは思ふのであります。現に御承知の通りに日本の青年女子は近年體がよくなつたといふことは、事實は運動が盛んになつた爲めであると私共は思つて

居ります。運動は私が學校に居りました折り、運動好きでやつて居りました爲めに兎に角運動に付いては彼地で感じたのでございます。又運動をなさらない方々も彼地へ行きますと運動が足りないといふことを御感じのやうであります。運動それ自身に於きましてのみならず運動に關聯致しまして運動の精神といふことに付いてはごうも彼地の人と日本と違ひますやうであります。或英吉利人が日本に参りまして夏の休暇を利用致しまして或る山に登り、山を歩いて居る中に日本の學生の二名か三名に會つた所でありませう。其學生は丁度山の中で道連れになつた爲めに話し掛けた所でありませう。で話し掛けた所が早速ベルグソンはごうだとか、オイツケンはごうだとかいふやうにむつかしい話を話し掛けたのであります。色々説明をして別れた所でありませうが、其人が向ふに歸つて其事を話して日本人は努力心が非常にある、例へば此間山に登つた所外國人と見れば新しいことを知りたいたいと見えて早速學問上のことを聞き始めるのですそれは誠に努力心があるといふことで感服致したけれども、併ながら山に登つて迄さういふむつかしいことをいふ必要は決してない寧ろ山に登つた時は我々自分達の躰の爲めの保養に登つて居るだけであるから頭を空にする、此際にさういふむつかしい御話などは寧ろ止める位にして自然を見て楽しむ、自然のことを語つて喜ぶのが、是が運動の精神をやないかと思ふ、日本人の努力心は誠に感心するがまう少しさういふ保養をして欲しいと自分は思ふ、例へば英吉利の國民は運動ばかりやつて居つて馬鹿見たやうに見へるけれども、併し何か事が起つた時分に其大問題を決しなければならぬと

いふ場合に頭がさういふ風に細く修養して居らなかつたならば所謂斷案な下すことは出来ぬといふことで、日本人ももう少しさういふ修養が必要ぢやないかといつたのであります。此話は一理あることで、さういふ精神の修養が必要である。私は思ふのであります。

亦運動に付きましては彼地ではアミユジメントを得るといふことを非常に努めて居ります。各人さういふ考で居るやうであります。色々例もございます一例を申し上げますと先達で歸りました時に日本の陸軍參謀本部に居られる人と御一緒になりました。其方が英吉利の陸軍に付いて御研究になりました。私に斯ういふ御話がありました。英吉利の陸軍の體育の方針に付いて懸賞として國民から其體育方針の案を募集したさうであります。其節一等になりましたのは陸軍に於て強制的に練兵をやらせるばかりが決して兵士の躰を良くし精神を鍊るの道ではない、無論強制的訓練といふことは必要である、併し其兵士の體育を圖る場合に愉快といふことを加味してゐない運動は決して躰を發育されない、故に躰育を奨勵する場合には矢張り愉快を感じさせる、例へばフットボールをやる、或はテニスをやるといふやうに矢張りアミユジメントを加味してやらなければならぬといふのが一等であつたといふことであります。其案に依つて英吉利の陸軍は今後やる方針であるさうであります。是亦大いに考うべきことだと聞いて參つた次第でございます。さまはど日本の人の躰が彼地の人に反して餘りよくないと申しましたが、日本の婦人に付きましては殊に我々はさう感するのであります。佛蘭西の婦人は日本の婦人とよく似て居りま

して非常に肥つた人が多いのであります。それは婦人が葡萄酒を飲んだりして國民は餘り運動が好きではなくして戦争後以來、あそこには「T」俱樂部といふものが出来ましてテニス、或はゴルフの俱樂部が出来たやうな始末で今迄は運動といふものは餘り行はれずして唯散步位か運動の方法であつたらしゅうございます、兎に角さういふ風で佛蘭西の婦人が殊に運動もなにもせず葡萄酒を飲み甘い物を喰つた爲めにどうも肥つた人が多いのであります、其点に付いては日本と佛蘭西とは似て居るやうであります、それ等は必ずしもよいことゝは認められないのであります、一体彼地の婦人と日本の婦人と比べますといふと、どうも日本の婦人は學問の力が足りないやうでございます。それは色々な原因もございませうけれども畢竟申しますと日本の婦人が本を讀む暇が無いやうであります、家庭の妻となつた者が手を濡らして朝から晩まで臺所で働いて一寸も暇がなく、本を讀む時間が少ないと思ふ、漸々暇が出来た時分には御化粧をする位で、又夫に當る者がそれが當り前位いのやうに思つて居りはしないかと思ふ、無論男尊女卑は決して悪いことではなくして日本の三千年の歴史、日本の三千年の國體の精華であると我々は亦誇つて居りますけれども、併しもう少し夫は妻の人格を認めるやうにならねばいけません、さうしてもう少し暇を與へて多少何か本でも讀むやうな暇を與へたならば知識も發達して行くと思ふ、無論日本も近年教育も普及し、又女子教育、學問熱も盛んになりました。色々婦人の會が出来まして婦人が向上致して居ることは非常に喜んで居る次第であります。今日も報道がありました、今朝華族女學校で學制の改革

をするといふ相談があつたやうであります。而して前期、中期、後期、と分けて高等科を其上に置き、高等科に於て今度新しく法制、經濟、社會學等も教へさせるといふやうに書いてございます。華族女學校に於てすらさういふやうになりました。非常に喜ばしいと存じます。併しながら尙ほ二層家庭に於て婦人に暇をつくつてやらなければ今後いくら發展しようと思つてもとも外國の婦人の匹敵することは出来ないと思ひます。

又外國に於きまして日本人を見ますると日本人はごうも共同心が少いやうであります。彼地には例へば佛蘭西に於きましては美術家が澤山居られます。又素人も居られます、又學者も居ります、陸海軍の方も居られます、又吾々の如き者も居られますが其間には連絡が取れて居りませぬ。例へば會議に列席致します時に於てもさうであります。ごうも日本人は一体連絡心が少ないやうで其爲に會議に出ましても非常に不便を感じます。例へば彼地に居りました時にさういふ連絡が取れたならば自分が感じたことをかう云ふ席で一層又確實に御話が出来たらうと思ひます、がごうも連絡が取れて居らぬやうであります。此所に陸軍の方も御出でとございますから或は御遠慮すべきものと思ひますが、併し事實でございますから御話し申上げたいと存じます。日本の陸軍省からは各國に將校の方が派遣さ居れてります、其方々は常に軍事状態は無論のこと政治經濟社會等の状態を調べて本省に御報告になるのであります。其の方々と又外務省から派遣されて居る、大使館、公使館、領事館等との連絡がごうも不十分であるやうで

ございます。爲に陸軍の外交と外務省の外交は相矛盾して日本の外交を過るやうなことになるはしないかと私はふ思のでございます。是は甚だ遺憾な事柄であると思つて居ります。寧ろ各國の政治社會を調査する獨立の機關が出来て各省から人が集つて各國の狀態を知る、さうして其材料を各省に配付をして行くこと云ふやうな方が寧ろ宜くはないかと是は私ばかりでなく彼地でも感じた方が多いやうに思ふのであるからして、唯御參考の爲にお話し申上げる次第であります。一昨年でございましたが萬國の會議に列席致しまして私が感じましたのはどうも日本語といふものが餘りに複雑で非常に不便に感ぜられたのであります。例へば報告をする場合に彼地の人は原文を讀んで佛蘭西語であつたならば佛蘭西語其のまゝをやれば各人に分る、日本の方は佛文英文に出来て居るもので佛文英文に先づ翻譯してそれからそれを文章に直ほしてさうして日本に送ることになるのであります。其の間非常な時間を要します。是は日本語がどうも不十分な点だといふことは皆さういふ席に臨んだ人の感じたことであります。のみならず其後私が各地を歩きました度に例へば自分の調査の爲に農務省とか商務省に参りました節に感じました。彼地の局長なり、課長の如きは私が何か調べて貰ひたいといふ時にはさうかと云つて秘書官に斯ういふことを調べて呉れるといひ、又紹介状を呉れる時も、紹介状に斯ういふことを書けと口でいひますと秘書官が其通り書きますれば多少の違はございますが電話でいはれた通り畧々近い所を書いて而して局長に持つて来れば夫を呉れるそれを又家に送つて呉れる。其間の時間の短じかいは到底日本に於て我々

が感ずるより以上に早いのであります。日本に於ては局長は秘書官に言付け、秘書官はそれを書記に書かせて書記の書いたものを秘書官が見て尙ほそれを清書させたものを秘書官が局長に持つて行つて或る場合には三週間も掛かるのであります。爲に政治の運用といふものは向ふことでも競争が出来ないといふやうになるので、殊に亞米利加に参りますと其念を強く致しますのであります。是は私は日本語の餘りに複雑であるといふ爲であると思ひまして、常に彼地で會ふ度毎に此の話が出ますが何れも皆御同感であります。殊に船の中で日本の文字を改善したいといふ話がありました。例へばローマ字論者なり又カナ論者なり又折衷論者なり又漢字制限論者もあるのであります。けれども宜しいと思ひます。兎に角もうちつと簡單なる語句にしたいといふ感じは常に私共は有ち又彼地に御滞在の方々も大部分はさういふやうな御考へであつたやうであります。

亦會議の節に感じましたのは英人と佛蘭西人とは非常な差異で佛蘭西人の非常な感情的なところそれから英吉利人の非常な理性的の此差異でございます。會議なんかに参りますと伊太利の人と佛蘭西即ち羅旬系の人々は非常に雄辯でございます。無論頭がよいからして非常に雄辯でございませうけれども。即ち感情的で非常に熱したる態度で演説を試み又反對演説も試みますけれども、會議の成績に至つて其効果は餘り上がらない。英吉利の代表者なんかは堂々たる演説は一向しませぬ黙つて聞いて居て不要なことば黙つて聞ひて居る。代表者が話す時には三十人も出て居つて代表者が全部斯んなくならない議論は

聞いて居ても詰らないといつて皆直に歸つてしまふ。是が爲めに、チックスロバツクとかユーゴセラブ等は餘り英國は横着であると申し、私なども左様感じました。必要な時は英吉利人は案を作つて、Aの案でいけなければBの案でやる、Bの案でいけなければCの案を出すの必要の準備して掛る、理屈はドシ／＼いまして最後にお前はさういふけれども、是はどうだといふ。佛蘭西の方は頭は宜いが雄辯な爲めに其處に於て反對をしますが、二回、三回となるに到々負けてしまふ。是は日本の國民が佛蘭西の國民のやうに理性的でなくて感情的の國民である爲めに矢張り會議に於てもさうではないかと思ひます無論私などが出ましても日本人は一体語學が悪いからいひたくても佛蘭西人見たやうに感情的に走つた激論は出来ませぬけれども、併し一体日本語でやればさういふ風になりはせぬかと思ひます。此の点に於て、英吉利人の理性は勝つた点を學んで行かなければならぬと我々は感じたのであります。

最後にもふ一つ申し上げて置きますが、英吉利に参りまして私の感じましたことは、英吉利の街に参りました。人は多いけれども其等の人々は非常に靜肅で例へば電車に乗らうと思ひ切符を買ふ時などでも非常に秩序正しく、ちつとも雜沓しない、又倫敦市街には自動車が多過ぎて先きと後とは支へるやうに雜沓致して居りますが、是は秩序正しく一つもマゴ／＼するやうなことなく動いて居るのであります。私は彼地に居ります時も少しも運動を忘れずして常にオックスフォードとケンブリッジの大學に参ります時にも自分で自動車を運轉致して行く場合……其自動車の運轉を自分で致しました時など一層痛

切に感じました。倫敦では最近其法律を作るといふ事でございます。私が居りました時に、未だ草案だけで法律になつて居りませぬ。是は慣習で皆各自が守つて居るけれども決して法律ではないのであります。其一番左側を大きな馬車を通り、或は乗合自動車を通り、其次ぎが普通の自動車を通り、真中の廣い所はタンクみたやうな大きな自動車を通るといふことは不文の法律になつて居ります。而して各人が其場合に手を出して止まれとか、或は前に行けとか自転車に乗つて居る小僧までがやるので、各自それをやるからして非常に自分も早く行けるし、人も便利を感じる。私共痛切に感じましたが、日本の國民はどうかといふと、斯ういふ觀念がどうも向ふの人のやうに無いのかと思ひますのであります。是はよく普通に申しまする公德心とか申しませうか、此公德心を養ふといふことに付きました。私は個人の自覺を起さしめるといふことが必要じやないかと私は思ふのであります。お前は日本の國民である、天皇の臣民である、お前は國家社會の一分子である、お前は社會の一分子である、お前が往來で妨害しないといふ事は社會の爲め。又國家の爲めであると斯う教へて行きたいと思ふのであります。日本の海軍の方で加藤寛治將軍がいはれましたが、其方が佛蘭西を立つて歸る時に、ホッシュ將軍に會はれて何か土産話を聞きたいといつて貴下はどうかやつてどういふ主義で今度の戦争をしたかと斯う聞かれたさうでございます。此時ホッシュ將軍は立所に何もなければ佛國民をして自覺せしめたことである、即ち兵卒に向つて必ず斯ういはれたと思はれますが、お前が此際努力しなければ佛蘭西の國家は危い、斯ういふ

ことをいはれたと私は思ひます。それより聞く所では日本陸軍の方がメッツの要塞、ベルダンの要塞方面に行かれて今に残つて居りますが、其方の御話しに依りますと佛蘭西の兵隊は實に強かつた獨逸の百名と佛蘭西の百名の兵士が衝突かつた時には必ず佛蘭西の兵士は強かつた。其強かつたといふのは己れが此際やらなければ佛蘭西の國は危ぶないといふ感じの下に立つたものと思ひます。此際に日本國民と一致しますれば、君の爲め、國の爲めに己れが此處でやらなければならぬ、斯ういふと私は思ふのであります。で此点は即ち、佛蘭西の國家如きものと日本の國家とは違ひますからしてさういふ感じが起つて來ること、思ひますけれども、近代の日本に於ては多少さういふ點も參酌して、汝は日本の國民である、汝はといふ言葉をいつて個人をして即ち自覺心を有たしめて行つたならば日本の國民を外國人のに公德心を尙ほ一層進めて行くことが出來やせぬかと私は思ふのであります。例へば、己れが妨害をすれば社會の爲めに悪い、國家の爲めに悪い、又それを教育する時にも、汝が往來で妨害をしなければ例へば或人が役所に通ふのに今迄一時間で通つて居つた者が五十分で行ける、又多勢の人がお前達が邪魔をしなかつたなら三十分で、即ち半分の時間で行けると思ふ。各人が三十分即ち半分の時間でやれるならば百人、千人が一人の爲にそれだけ利益すれば日本の國家は今の状態であれば十年掛るものは或は五年でもつて進歩はしはしないかと斯ういふことをいつて教へて行くことは私は必要でないかと思ひます。無論君に忠に。親に孝にといふことを説いてそれはお前の爲めであるといふことをいふは無論日本

の教育の方針を致しましては必要なことは勿論でございますけれども、又一方に於てはさういふ教育の方針も必要ではないかと私は思ふのでございます。若しもさう致しますならば或る場合例へば極端の例でございますけれども社會主義者、所謂悪い意味の社會主義者、斯ういふ人達は矢張り坊主憎くければ袈裟まで憎いで、例へば國家とか或は天皇といふことを意味して道徳を説けば早速反抗して來るやうなことがありはしないかと私は思ふ。併ながらお前がさういふことをしなければ日本の國家が早く進んで行く、それだけ社會が発達して行くといふことをいつたならば、さういふ反感を買はずして日本に一人の善良なる國民が湧くのではないかと私は思ふ。それ故に私は彼地で往來を歩いて感じたことでございますが、各人をして自覺せしめて而して公徳心を養い、而して日本の國を益々發達せしめて行かなければならぬと感じたのであります。殊に皆様御承知の通り大戰以來、又以前に於きまして色々問題が起きました日本國といふものは舉國一致今迄に加へての努力奮闘を致さねばならぬといふ急がしい時期であります故に、公徳心を向上せしめて一分一秒でも各自が有刑に國家の爲めに働いたなれば宜くはないか又是が日本の今日の世の中に於て必要であると私は感じたのでございます。大分長く色々詰らない話を申し上げますが、併し斯ういふ詰らない御話は斯ういふ席では却つて皆様が御遠慮になり御話しにならませぬから、私は却つてむづかしいやかましいことは避けまして詰らない唯私が感じました理屈抜きの御話を申し上げて私はこれで失禮致したいと考へます。